



しろしたこうさく 城下広作県政報告誌

県民の身近な代弁者

2017年 11月発行



ご挨拶

晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。さて、秋も深まり県庁プロムナードの銀杏並木もすっかり色付き、黄色い絨毯を敷き詰めたような光景が目に留まります。今年もあと約1ヶ月余りを残す季節となりましたが、なんといっても、ここ最近の出来事で忘れられないのが、衆議院の解散総選挙がありました。一部では「大義なき解散」との声もあるなど、争点が見えにくく戸惑う声が私の耳にも多く届きました。国政の動向は、県政にも大きく影響を受け、特に震災で大きな被害を受けた本県としては、これからも国の支援を必要とすることから、熊本地震の復旧・復興を訴えられた方々はその約束を是非果たして頂きたいと投票された方々は皆さん期待していると思います。

県議会議員(会派公明党) 城下広作

9月議会、各種委員会での私の発言と主な要旨!

有明海・八代海漁生及び地球温暖化対策特別委員会

9月25日、上記委員会が開催され、熊本地震の影響で益城町を中心に既存の下水道管が多く破損したと想像できるが、その県下の現状と復旧の状況を尋ねた。また、水産関係ではアサリの激減の原因を尋ね、原因究明の調査の徹底をお願いした。

大型クルーズ船、八代港を視察



9月10日、クルーズ船寄港に伴い大型バスの貸切が増え、その影響で交通渋滞の苦情を聞き現地を視察しました。

この日も、100台近くバスが用意されていました。

9月の常任委員会で対策について質問しました。

選挙制度改革特別委員会

9月25日、上記委員会が開催され、県議会議員の定数問題について、過去に論議した問題を踏まえ今回の定数の在り方を考える委員会にして頂きたいと提案した。ちなみに、前回の論議では熊本市の選挙区問題を徹底して論議した。

経済環境常任委員会

9月27日、上記委員会が開催され、震災で発生した産業廃棄物、特に、南関町にあるエコアくまもとの受け入れ状況を確認した。また、この施設は環境学習の目的もあったことからその実績を尋ね、その他に、若者の雇用問題も質問した。

太津町防災士連絡協議会に参加



9月23日、太津町防災士連絡協議会主催の総会に案内を受け参加しました。この日は、地域や仮設住宅に住む方々と一緒に防災食を頂きながら、防災についての語らいました。12月議会の一般質問で取り上げます。

東京浅草漫才協会、熊本県に寄付



9月27日、浅草漫才協会から震災を受けた熊本県に義援金を送りたいとの相談を受け、県との取次をさせて頂きました。当日は、会長である青空球児さんとナイツのお二人が同行されました。この夜二人は県劇で漫才を行いました。

城下こうさく

info@shiroshita-kousaku.net

お気軽にご相談ください。

PROFILE

POLICY

ACTIVITY REPORT

COUNCIL NEWS

COUNCIL PROCEEDING



活動報告

RSS

県議会、12月1日、いよいよ質問

2017年11月29日 [活動報告](#)
県庁の銀杏も黄金色に染まり、早いものは落ち葉となって、まさに黄金のじゅうたんを敷き詰められたような光景が目に留まります。そんな中、12月議会が11月28日から12月14日の期間、開催されます。私は12月1日午後から、一般…

[この記事を読む](#)

本会議会議録に、本年度2月代表質問を追加しました。

2017年11月1日 [県議会](#)

本会議会議録に、平成29年度定例会、2月代表質問を追加しました。

[この記事を読む](#)

県議院解散、総選挙。

●ホットライン《お気軽にご相談ください。》

県議会/096(333)2645・FAX096(385)9767・携帯電話/090-8661-7722

●ホームページ <http://www.shiroshita-kousaku.net/> ●メール info@shiroshita-kousaku.net

県民の身近な代弁者

熊本県会議員

D 熊本市第1選挙区選出

熊本県庁

Tel.096-333-2645/Fax.096-385-9767

第 82 号



2017年 11月発行

ご挨拶

晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。さて、秋も深まり県庁プロムナードの銀杏並木もすっかり色付き、黄色い絨毯を敷き詰めたような光景が目に留まります。今年もあと約1ヶ月余りを残す季節となりましたが、なんといっても、ここ最近の出来事で忘れられないのが、衆議院の解散総選挙がありました。一部では「大義なき解散」との声もあるなど、争点が見えにくく戸惑う声が私の耳にも多く届きました。国政の動向は、県政にも大きく影響を受け、特に震災で大きな被害を受けた本県としては、これからも国の支援を必要とすることから、熊本地震の復旧・復興を訴えられた方々はその約束を是非果たして頂きたいと投票された方々は皆さん期待していると思います。

県議会議員(会派公明党) 城下広作

選挙制度改革特別委員会

9月25日、上記委員会が開催され、県議会議員の定数問題について、過去に論議した問題を踏まえ今回の定数の在り方を考える委員会にして頂きたいと提案した。ちなみに、前回の論議では熊本市の選挙区問題を徹底して論議した。

経済環境常任委員会

9月27日、上記委員会が開催され、震災で発生した産業廃棄物、特に、南関町にあるエコアくまもとの受け入れ状況を確認した。また、この施設は環境学習の目的もあったことからその実績を尋ね、その他に、若者の雇用問題も質問した。

太津町防災士連絡協議会に参加



9月23日、太津町防災士連絡協議会主催の総会に案内を受け参加しました。この日は、地域や仮設住宅に住む方々と一緒に防災食を頂きながら、防災についての語らいました。12月議会の一般質問で取り上げます。

東京浅草漫才協会、熊本県に寄付



9月27日、浅草漫才協会から震災を受けた熊本県に義援金を送りたいとの相談を受け、県との取次をさせて頂きました。当日は、会長である青空球児さんとナイツのお二人が同行されました。この夜二人は県劇で漫才を行いました。

城下こうさく

<http://www.shiroshita-kousaku.net/>

お気軽にご相談ください。

PROFILE

POLICY

ACTIVITY REPORT

COUNCIL NEWS

COUNCIL PROCEEDING



活動報告

RSS

県議会、12月1日、いよいよ質問

2017年11月29日 [活動報告](#)
県庁の銀杏も黄金色に染まり、早いものは落ち葉となって、まさに黄金のじゅうたんを敷き詰められたような光景が目に留まります。そんな中、12月議会が11月28日から12月14日の期間、開催されます。私は12月1日午後から、一般…

[この記事を読む](#)

本会議会議録に、本年度2月代表質問を追加しました。

2017年11月1日 [県議会](#)

本会議会議録に、平成29年度定例会、2月代表質問を追加しました。

[この記事を読む](#)

県議院解散、総選挙。

LINE@登録

LINE@(ラインアット)によるダイレクトメッセージの登録は下記のQRコードで。

●LINE@用QRコード

@



LINE@用QRコード



最新の情報をお届け!
メルマガ登録



メルマガ登録ボタンをクリック。

QRコードを読み取って、空メールを送ってください。



城下こうさくメルマガ登録開始!

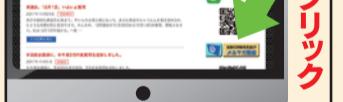
●「城下こうさくメルマガ登録」の方法

▼空メールから



QRコードを読み取って、
記載されたアドレスに空
メールを送ってください。

▼ホームページから



城下こうさくホームページ
の「メルマガ登録」ボタンを
クリック。



開いたページの空欄に、
メールアドレスを記入して、
送信をクリックして下さい。



県議院解散、総選挙。

9・10・11月の主な活動「現場第一主義」県民の声を県政に!!

熊本県宅建協会50周年総会に参加



9月15日、上記総会の案内を受け参加しました。同協会とは、県経済の重要な役割を担う土地や建物の経済活動に資する諸問題の解決の為、県議の立場で交流をさせて頂いています。

九州測量専門学校50周年記念総会



9月22日、母校の上記総会に案内を受け挨拶をさせて頂きました。この日は、全国から卒業生が集まり賑わいましたが、現在は在学生が少なく測量技術の継承が心配されます。人材確保に尽力します。

天草幹線道路期成会陳情



9月28日、上記団体から毎年恒例の「天草幹線道路」早期完成に向けた陳情を受けました。新天門橋や本渡新瀬戸大橋と同様、その他の区間の早期事業着手に向け頑張ります。

県選出国會議員に国への陳情



11月6日、県選出国會議員の皆様に、蒲島知事をはじめ執行部、自民党の県連幹部、そして、私と参議院会館にて国への陳情を行いました。復興道半ば国會議員の尽力に期待します。

天草市主催、健康セミナーに参加



11月19日、天草市主催の健康セミナーに案内を受け参加しました。この日は、参議院議員で医学博士の「秋野公造」さんがピロリ菌除去と足病予防の重要性を語られました。写真は中村市長と参加者です。

10月14日、盲ろう者を支える、ボランティア団体のメンバーと熊本県福祉総合相談所の中にある熊本県身体障がい者福祉センターの通訳・介助員の派遣事業費削減の改善や今後の支援の在り方などについて意見交換を行いました。下記の新聞記事は、後日、10月24日、県障がい者支援課において「熊本盲ろう者夢の会」として、通訳・介助員の派遣事業の改善・拡充の要望を行い、私からも事業の重要性を訴えた様子を伝えた記事です。

●公明新聞11月15日付

聞

(第3種郵便物認可)

2017年(平成29年)11月15日(水曜日)

日刊

熊本地震1年7カ月

盲ろう者の暮らし守れ



派遣事業費の削減による盲ろう者の窮状を訴える城下議員（奥右端）

すでに（通訳・介助員の派遣依頼の際に必要な）チケットを使いつめてしまった。一人で自由に出歩けないので、じっと家にいることしかできない

熊本県県新館の一室。「熊本盲ろう者夢の会」の園田秀一副会長（67）が、奥山晃正・県障がい者支援課長らに手話で思いをぶつけた。

公明県議が橋渡し――

同会は当事者や通訳・介助員で構成され、園田副会長も盲ろう者の一人。生まれながらにして耳が聞こえず30歳代で失明。外出する際は通訳・介助員の付き添いが欠かせないといふ。通訳・介助員が手のひらに文字を書く「手書き文字」で情報を得ている古賀みどり会長（66）は、「このままでは盲

とはい、派遣内容によっては、8時間を超える場合でもボランティアで支援する事例も少なくない。こうした実態に派遣事業費の削減が拍車を掛けているのも事実だ。「心から頼りにされている以上、チケットが足りなくなつた利

発災当初に自力で避難できなかつた盲ろう者も、健常者と同じ被災者として、熊本地震から1年7カ月の歳月を懸命に生きてきた。復旧・復興が進む傍らで取り残されたがちな当事者の「小さな声」。陳情の場で古賀会長が語つた「私たちを社会から切り離さないで……」との願いに、公明党は寄り添い続

「外出の喜び奪わないで……」

熊本地震からの創造的復興を加速させる予算を捻出すため、各部局の今年度予算の削減に取り組んだ熊本県。これにより、目と耳が不自由な盲ろう者のための通訳・介助員の派遣事業費も縮小され、利用者から不安の声が上がっている。先ごろ、公明党県議団の城下広作議員の橋渡しで関係団体による県への陳情が実現。盲ろう者を取り巻く実情が浮き彫りになった。II 熊本地震取材班

県によると、派遣事業を利用している盲ろう者は4人（11月6日現在）。頼みの綱と提案。奥山課長は、「皆さんを聞く場を設けていくべき」と提案。奥山課長は、「皆さんの要望を聞きながら事業内

用者を善意で支援せざるを得ないケースが増えていく」。同会会員の前川千里さん（65）は、通訳・介助員の立場から予算の見直しを求めた。こうした切実な声を後押しするように城下議員は、「県が現実に即した予算化を行うためにも、今後も利用者の声を聞く場を設けていくべき」と提案。奥山課長は、「皆さんの要望を聞きながら事業内

の思想疎通支援の専門家。派遣時間は健康管理に配慮して府県事業の養成講座を受講した意図であります。私たちも、今後も利用者の声を聞く場を設けていくべき」と定期的な意見交換を行っていく考えを示した。

用者を善意で支援せざるを得ないケースが増えていく」。同会会員の前川千里さん（65）は、通訳・介助員の立場から予算の見直しを求めた。こうした切実な声を後押しするように城下議員は、「県が現実に即した予算化を行うためにも、今後も利用者の声を聞く場を設けていくべき」と提案。奥山課長は、「皆さんの要望を聞きながら事業内

の思想疎通支援の専門家。派遣時間は健康管理に配慮して府県事業の養成講座を受講した意図であります。私たちも、今後も利用者の声を聞く場を設けていくべき」と定期的な意見交換を行っていく考えを示した。